

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# CASIO® 380

## 使用説明書

カシオ計算機株式会社

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。

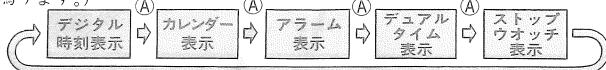
末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

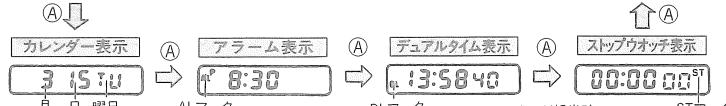
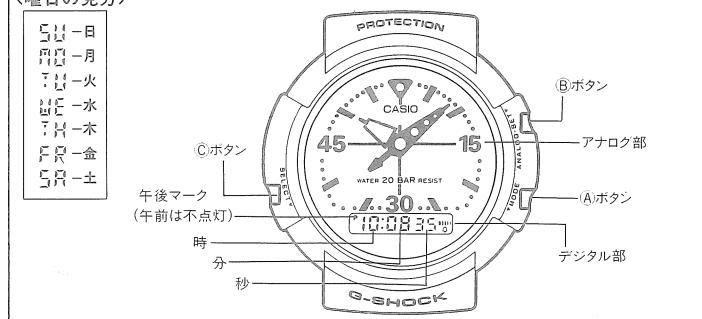
### 操作のしくみと表示の見方

Ⓐボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります。)



※詳しくは各機能の項目をご覧ください。Ⓐ

### 曜日の見方



●回転ベゼルについているものは回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして、経過時間を知ることができます。

●水深計つきの機種は、水に満った時に、ベゼル部のチューブ内に入った水の先端の数字が水深(m)を示します。

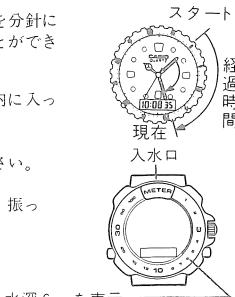
スキンタイピングでの水深測定の目安としてご使用ください。

※水深計には精度誤差がありますので、あらかじめご了承ください。

(0 m ~ 10 m未満……± 2 m、10 m~100 m……± 20%)

※チューブ内に水が残っている場合には更に誤差が出ますので、振つたり温めて水を抜いてからご使用ください。

(温める場合、60°C以上の高温はお避けください。)



水深 6 m を表示

### 製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

デジタル部表示方式: FE型液晶デジタル表示

基本機能: アナログ部……時・分(2針)

デジタル部……時刻表示=時・分・秒・午前/午後

アラーム機能: 時刻アラーム、セッティング単位=分 電子ブザー=約20秒間 時報 毎正時を報時

デュアルタイム機能: 表示内容=時・分・秒

ストップウォッチ機能: 計測範囲=59分59秒 9 (60分計)

計測機能=通常計測、積算計測

その他: 自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え機能

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 C/MOS-LSI

駆動方式: アナログ部=ストップモーター式

デジタル部=マルチブレックス駆動

常温搭載精度: 月差±15秒以内

使用電池: SR-927W (電池別途販売)

※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。

電池寿命: 約3年

(1日当たりアラームを20秒間使用した場合)

### ご使用上の注意

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR燃し	5BAR	10BAR	20BAR
洗濯、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキントライビング(水滑り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表します。

※裏蓋の裏蓋はスキンタイピング(アクアラング)での使用はお避けください。防汗構造になつておりませんので、多量の汗を発する場合、もししくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

※海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとてください。

※防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。

※電池交換の際、防水検査をおこないますので、必ずお買上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします)

●防水構造の部分にゴザイン上皮テープを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水にかかるご使用はお避けください。

■バッキンマークは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

■お手入れ、ケータイやベルトの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまつた汚れを部分洗いすることをおすすめします。

■汚れがままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮の弱い方はかぶれたりする場合があります。

■温、度 直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。流れ、進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。

■ショック 腕についたままでモトクロス・チューンサー・削岩機などの強い振動を受けても時計に支障ありません。腕についたままで激しいスポーツなどでヨックがかかる時も時計に支障ありません。(ただし、ガラス部を強くぶつけることはお避けください)

■磁気 家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないよう耐衝撃構造をとっていますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時に遅れ、進みが生じることがあります。

■漆喰類 水銀や化粧品(シンナー、ガリソン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)に付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

■保管 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

※万が一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 電池交換について

●最初の電池 工場出荷時にモーター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モーター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のこと、時計本体価格に電池代は含まれております。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消 燥 電池が消耗しますと時計の狂いが目立つたり、止まつたりします。

■消耗した電池を使ってると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換、電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

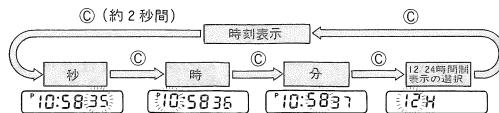
■電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

### 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実質にて申し受けます。

## デジタル時刻のセットのしかた

デジタル時刻表示のとき③ボタンを約2秒間押し続けると「秒」が点滅します。以後③ボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



## ●秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

(1)時刻表示のとき③ボタンを約2秒間押し続けると「秒」が点滅します。



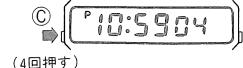
(2)時報に合わせて③ボタンを押すと「秒」が00からスタートします。



\*秒が00~29のときは切捨てられ、30~59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)③ボタンを4回押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。

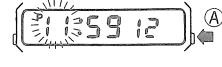


## ●時・分のセット

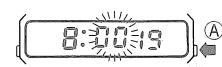
(1)③ボタンを押して「時」を点滅させます。  
(上図参照)



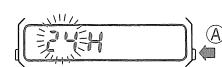
(2)④ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。  
※押し続けると早送りができます。



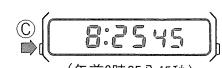
(3)「時」を合わせたあと③ボタンを押して「分」を点滅させます。「時」と同様に④ボタンを押すごとに「分」が1つずつ進みますので、合わせたい「分」にします。  
※押し続けると早送りができます。



(4)「分」を合わせたあと③ボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。④ボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、好みの表示を選択します。  
※「12H」を選択したとき、午後のみPマークが点灯します。



(5)表示を選択したあと③ボタンを押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。



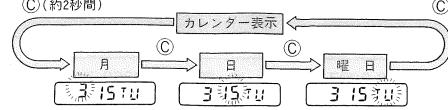
## アナログ時刻のセットのしかた

デジタル部がどの表示のときでも③ボタンを押すと1分(20秒)ずつ進み、押し続けると早送りができます。  
※分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったとき1分(20秒)ずつ進みます。

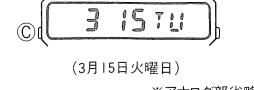


## カレンダーの合わせ方……操作のしくみにしたがい③ボタンを押してカレンダー表示にします。

カレンダー表示のとき③ボタンを約2秒間押し続けると「月」が点滅します。以後③ボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



(1)③ボタンを押して(約2秒間)「月」を点滅させます。このとき③ボタンを押すごとに「月」が1つずつ進みますので、合わせたい「月」にします。  
※押し続けると早送りができます。



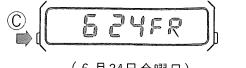
(2)「月」を合わせたあと③ボタンを押して「日」を点滅させます。③ボタンを押すごとに「日」が1つずつ進みますので、合わせたい「日」にします。  
※押し続けると早送りができます。



(3)「日」を合わせたあと③ボタンを押して「曜日」を点滅させます。③ボタンを押すごとに「曜日」が1つずつ進みますので、合わせたい「曜日」にします。  
※押し続けると早送りができます。



(4)「曜日」のセットが終わったら③ボタンを押すと点滅は止まり、カレンダー表示に戻ります。



(6月24日金曜日)

## アラームの使い方……操作のしくみにしたがい③ボタンを押してアラーム表示にします。

### 確認 □ ALマークの点灯

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。

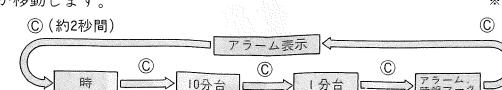
また毎正時(00分のとき)を「ピッピッ」と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

※いずれもデジタル時刻表示にしたい機能します。

※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

### ●セットのしかた

(1)アラーム表示のとき③ボタンを約2秒間押し続けると「時」が点滅します。以後③ボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



### (2)「時」のセット

③ボタンを押して「時」を点滅させます。このとき③ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。

※押し続けると早送りができます。

※12時間制表示の午後のみPマークが点灯します。

### (3)「10分台」「1分台」のセット

同様の操作で、③ボタンで「10分台」、「1分台」を点滅させ、③ボタンで表示をセットします。

### (4)「アラーム・時報のON/OFF」

アラーム時刻(時・分)をセットしたあと、③ボタンを押すとアラームマーク(AL)時報マーク(BM)が点滅します。このとき③ボタンを押すごとに「AL」が1つずつ進みますので、合わせたい「AL」にします。

※マークが点灯しているときがONの状態です。

①アラームマーク、時報マークが点灯しているとき →アラーム、時報ともON

②アラームマーク、時報マークが消えているとき →アラーム、時報ともOFF

③アラームマークのみ点灯しているとき →アラームのみON

④時報マークのみ点灯しているとき →時報のみON

## デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがい③ボタンを押してデュアルタイム表示にします。

### 確認 □ DLマークの点灯

デュアルタイムはデジタル時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(例はデジタル時刻と連動)デジタル時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制表示、デュアルタイムを24時間制表示にセットすることもできます。

またアナログ時刻、デジタル時刻、デュアルタイムをそれぞれ別の時刻にセッティングすれば3つの地域の時刻を表示することもできます。

### ●セットのしかた

#### (1)デュアルタイム表示のとき

③ボタンを約2秒間押し続けると「時」が点滅します。以後③ボタンを押すごとに右の順で点滅個所が移動します。

(2)③ボタンを押して「時」を点滅させます。このとき③ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。

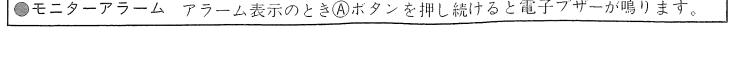
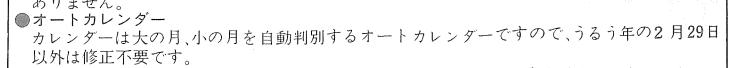
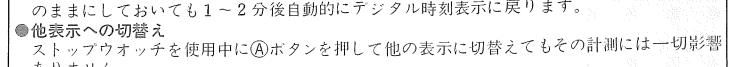
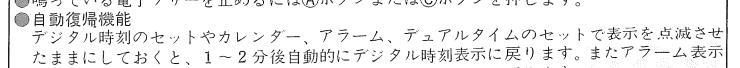
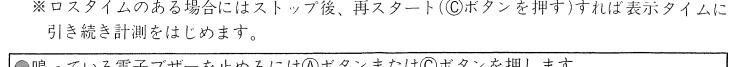
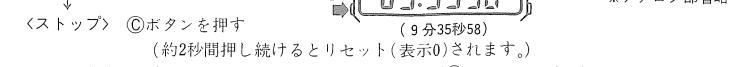
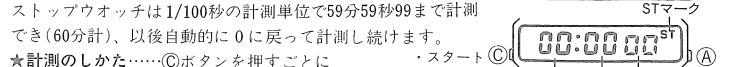
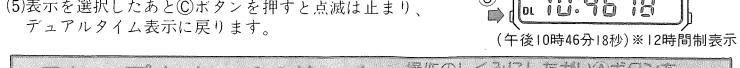
※押し続けると早送りができます。

※12時間制表示の午後のみPマークが点灯します。

(3)同様の操作で③ボタンで「分」を点滅させ、③ボタンで表示をセットします。

(4)「分」を合わせたあと③ボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。③ボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、好みの表示を選択します。

(5)表示を選択したあと③ボタンを押すと点滅は止まり、デュアルタイム表示に戻ります。



(午後10時46分18秒)※12時間制表示

## ストップウォッチの使い方……操作のしくみにしたがい③ボタンを押してストップウォッチ表示にします。

### 確認 □ STマークの点灯

ストップウォッチは1/100秒の計測単位で59分59秒9まで計測でき(60分計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……③ボタンを押すごとに

操作確認音が鳴ります。

<スタート> ③ボタンを押す ↓

<ストップ> ③ボタンを押す (約2秒間押し続けるとリセット(表示0)されます。)

※ロスマインのある場合にはストップ後、再スタート(③ボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●鳴っている電子ブザーを止めるには③ボタンまたは③ボタンを押します。

●自動復帰機能

デジタル時刻のセットやカレンダー、アラーム、デュアルタイムのセットで表示を点滅させたままでしておくと、1~2分後自動的にデジタル時刻表示に戻ります。またアラーム表示のままにしておいても1~2分後自動的にデジタル時刻表示に戻ります。

●他表示への切替え

ストップウォッチを使用中に③ボタンを押して他の表示に切替えるとその計測には一切影響ありません。

●オートカレンダー

カレンダーは大月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

●モニターアラーム アラーム表示のとき③ボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。